DNW-23008 の概要

課題名　　：メチシリン耐性黄色ブドウ球菌に対する新規抗菌薬の標的妥当性検証

主任研究者（Principal Investigator）：

奥田　賢一（学校法人福岡工業大学工学部）

ステージ：標的検証前期

【標的疾患】

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）感染症

【創薬標的】

細胞壁関連因子 X

【創薬コンセプト】

細胞壁関連因子 X を阻害することにより、新規作用機序を有する抗菌薬を創出する。

【モダリティの設定】

低分子化合物

【創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス】

以下のことが PI らにより明らかにされている。

1) 化合物スクリーニングにより、MRSA のβ-ラクタム薬耐性を低下させる化合物を取得している。
2) 推定標的分子として細胞壁関連因子 X を同定している。

【支援ステージにおける目標】

・MRSA の遺伝子変異株を作製し、当該変異株と野生株との各種比較試験から標的妥当性を検証する。

・細胞壁関連因子 X 阻害が種々の抗菌薬の感受性に与える影響と当該因子阻害薬の

MRSA 以外の適応菌種を検証する。

【関連特許】

なし

本資料は、創薬総合支援事業（創薬ブースター）による支援の終了時の情報をもとに作成しています。